



dog wood cat + cure

森のいぬねこ病院

ニュースレター News Letter

05
2014.7

こんにちは！森のいぬねこ病院 院長の西原です。

7月になり、夏空がひときわまぶしく感じられる季節となりました。

早いもので1年の半分が終わったということになりますね。

体調管理を心がけながら夏を乗り切っていきましょう。

大切なペットの健康管理は、当医院にお任せ下さい！



仙台市青葉区芋沢字綱木坂 22-3
☎022-394-2520 (FAX共通)

[森のいぬねこ病院](#) 検索



[お問合せE-mail] info@morino-inuneko.com

イベント
レポート

～トリマーさんやペットショップスタッフ向けのセミナーを開催しました!!～



セミナーではトリミングで行われているシャンプーをはじめとしたスキンケアやお耳のケアについて獣医学的な根拠を解説しながら、正しい方法についてお話をさせていただきました。

■犬猫の皮膚は赤ちゃんの肌よりデリケートなんです

犬猫の全身の体表を覆っている皮膚には、さまざまな刺激（日光、暑さ寒さ、ほこりや細菌など）から体を守ったり、体温を調節したり、寒冷や痛みなどを感じる感覚器となったりと、いくつもの大切な役割があります。体のいちばん表面にある表皮が、外の刺激から体を守るバリアになりますが、実は犬や猫の表皮は人間に比べるととても薄いのはご存知ですか？ 人間の赤ちゃんの表皮はパパやママの半分くらいの厚さですが、犬猫ではさらにそれよりも薄いです。表皮が薄いということは、それだけ刺激に弱く、デリケートだということなのです。

■ホームスキンケア…シャンプーについて

犬猫のスキンケアは、不要な角質や汚れを取り除き皮膚バリア機能を高めることが大切です。

不要な角質や汚れを取り除くのはシャンプーの役割ですが、皮膚への刺激は避けられません。最後に必ず「保湿」

を行い、皮膚バリア機能を高めましょう。多量のフケや湿疹など、皮膚に異常があるときのシャンプーは、症状を悪化させることがあり、薬用シャンプーなども長く使い続けると皮膚に悪影響を及ぼす物も多くあるので、事前に動物病院での診察をお勧めします。以下、スキンケアについてまとめました。

- 皮膚に異常があるときは必ず動物病院を受診
- 濡らす前に十分なブラッシングを…余分な毛を取り除くだけでなく、皮膚のコンディションを確認できます。あまり強くブラッシングすると皮膚を傷つけることがあるので注意を。
- シャンプーの前のお湯洗いを十分に行う…皮膚のコンディションが良い場合は、少し熱め（35℃程度）で。シャワーは勢いよく、毛を逆なでるように。シャワーの勢いで余分な角質が落ちるので負担がかかりにくいです。
- シャンプーはしっかり泡立て、泡で洗浄…原液は皮膚に刺激が強すぎることがあります。一度の洗浄で落ち切らない脂汚れは2、3度洗でいいでしょう。
- すぎすぎは十分に…すぎ残しがあると、シャンプーの刺激で湿疹の原因になります。
- タオルドライの後、ドライヤーの前に保湿剤を使用…ドライヤーは皮膚の水分まで飛ばすため乾燥肌の原因に。事前に保湿剤を使うことで、皮膚のバリア機能が高まります。また、皮膚に異常があるときのシャンプーはケースバイケースです。

スキンケアで気にならなければ、お気軽に森のいぬねこ病院にお尋ねください。

ペット業界全体がレベルアップすることで、人間もペットも幸せになれる…それが私の思いです。

ちよこっと耳より情報 椎間板ヘルニアの症状について

2回にわたって「椎間板ヘルニア」の病態についてお話させていただきました。3回目の今回はワンちゃんの椎間板ヘルニアの症状についてお話させていただきます。

●椎間板ヘルニアと5段階のグレード分け

椎間板ヘルニアは、「なんかどこか痛がってる」から「下半身マヒ」まで様々な症状がみられます。

また、突然、症状が出ることもあれば、人と同じようにジワジワと症状が悪化する場合もあります。ワンちゃんの椎間板ヘルニアは、症状によってグレード分け（重症度分類）されています。

[重症度分類]

グレード1 痛みのみ。マヒはなし。

グレード2 力が入りづらいが、何とか歩くことができる状態

グレード3 立って歩くことができない状態

グレード4 自分の意志で排尿や排便ができない状態

グレード5 痛覚も無くなった状態

また、再発率は外科療法の方が低いです。

このように、グレードによって、治療成績や回復期間が異なりますので、椎間板ヘルニアを患ってしまった場合は、グレード分けをすることが大切です。

次回は、それぞれの治療についてお話させていただきます。

	内科療法		外科療法	
	治療成績	回復期間	治療成績	回復期間
グレード1	約90%	3週間	約90%	
グレード2	約90%	6週間	約90%	
グレード3	約90%	9週間	約90%	1週間
グレード4	50%	12週間	約90%	2.5週間
グレード5	7%	—	50%(<48) 6%(>48)	2週間

内科療法 再発率 33~40% 外科療法 再発率 4~27%

※様々な論文にあるデータを大まかにまとめたものです。



●なぜグレード分けをするのでしょうか？

実はグレードによって治療成績が異なることがわかっています。（右表参照）

大まかに分けますと、歩けなくなった場合は、外科療法の方が治療成績が良いです。（グレード3の内科療法でも治療成績は90%ですが、9週間、つまり2ヶ月以上、「ケージレスト」といって、できるかぎり動かさない処置が必要です。ワンちゃんではあまり現実的ではありません）

この一年間、動物看護師として活躍してくれた小内さんが、今月いっぱい森のいぬねこ病院を卒業することになりました。

小内さんは夜遅くまで入院動物の看護をしてくれたり、本当に一生懸命がんばってくれました。

また、森のいぬねこ病院を立ち上げて間もない時期に参加してくれたスタッフなので、私個人としても思い入れがあります。退職は非常に残念なのですが、「卒業」という形で送り出してあげたいと思います。小内さんの次のステージを心から応援しています。

今まで本当にありがとうございました！！

私、西原は髪をぱっさり切って心機一転！！今後とも森のいぬねこ病院をよろしくお願ひいたします。

Dr.西原の歳時記



←髪を切りましたがどうですか？感想お待ちしております（笑）